

3 景観重要公共施設

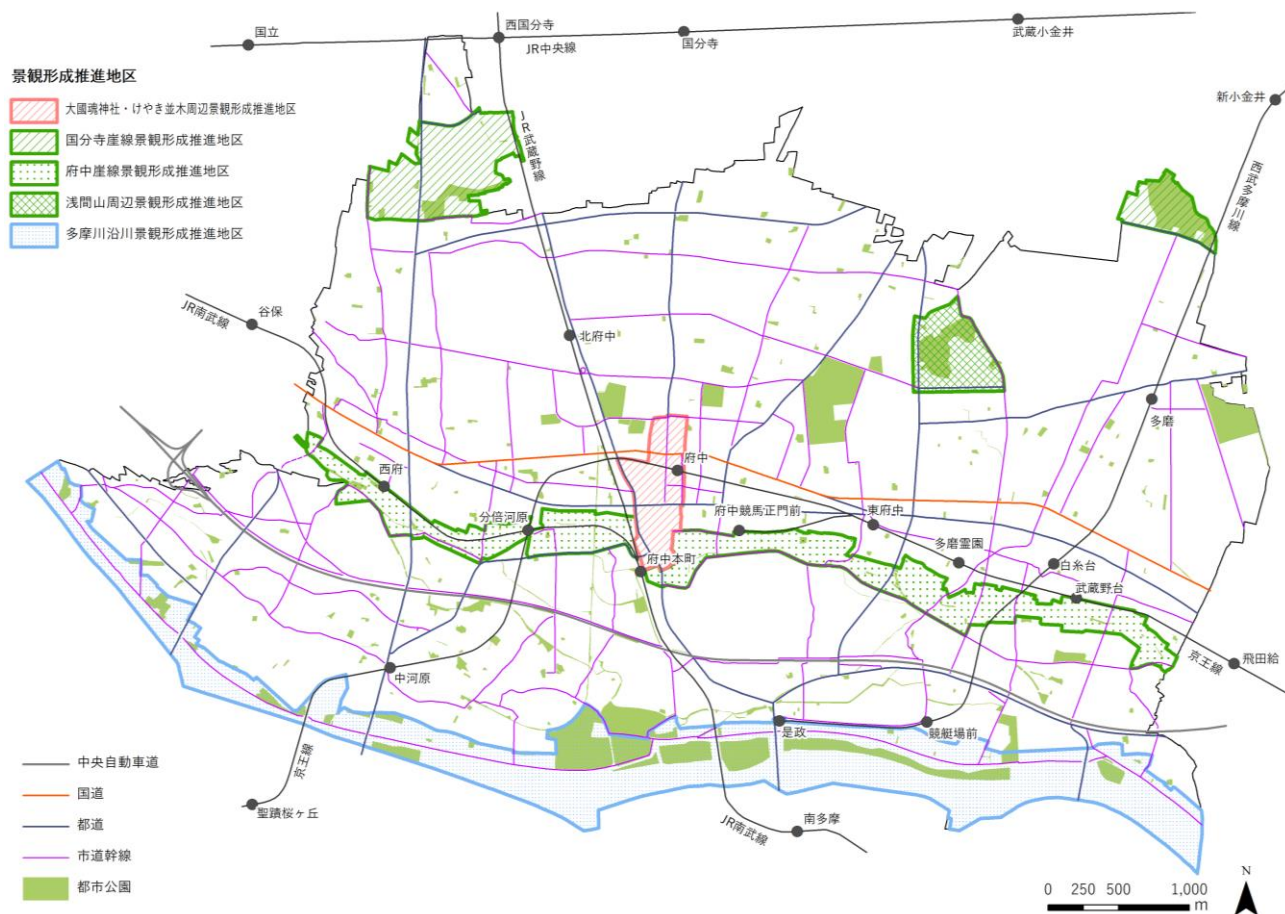
道路、公園、河川などの公共施設は、景観を構成する重要な要素であり、その周辺の土地利用と調和した整備や管理を行うことにより、効果的に良好な景観を形成することが可能となります。

このため、景観法第8条第2項第4号口の景観重要公共施設の整備に関する事項を定め、景観法に基づく「景観重要公共施設」の制度を積極的に活用し、地域のまちづくり等と連携して良好な景観の形成に配慮した整備を行います。

特に、公共施設と周辺の建築物等が一体となった良好な景観形成を図る観点から、「景観形成推進地区」においては、公共施設の補修や修景整備等の機会を捉え、管理者の同意を得て景観重要公共施設を追加していきます。

また、「景観重要公共施設」に位置付けた施設の周辺では、地域における良好な景観の形成を図る観点から、当該公共施設の整備等の機会に合わせて、土地利用を適正に誘導します。

■景観形成推進地区と公共施設



(1) 景観重要道路

ア けやき並木通り

けやき並木通りの大國魂神社から桜通りまでの区間は、馬場大門のケヤキ並木として国の天然記念物（※）にも指定され、府中市のシンボルとして市民に親しまれています。

この区間は、沿道建物の壁面後退を始め、様々な景観形成の取組を行ってきましたが、今後も府中市のシンボルとして、けやき並木の維持、保全に努め、市民の積極的な参画を促し、落ち着いた風格のある景観の形成を図るとともに、中心的な市街地としてのにぎわいを創出します。

なお、景観法第8条第2項第5号ハに基づき、けやき並木通りにおいて、屋外広告物等の道路占用の許可を行う場合は、府中市景観ガイドライン（屋外広告物編）に配慮することとします。



■けやき並木通り

※) 天然記念物の指定区間は一部異なります。

イ 市道4-50号、市道4-55号

大國魂神社の西側に位置する市道4-50号（延長約300メートル）及び東側に位置する市道4-55号（延長約200メートル）は、「大國魂神社が持つ歴史性と豊かな緑を中心とし、行き交う人々の活動が主役となるまちづくり」をデザインコンセプトとして、意見交換会により「みちづくり」の方針、道路デザインの検討を重ねながら整備を行っています。これらの市道は、神社を引き立てるみちとし、大國魂神社をまち並みの主役とした沿道の維持・保全に努めます。



■市道4-50号



■市道4-55号

ウ 市道4-124号、市道4-244号

府中本町駅と府中街道を結ぶ市道4-124号(延長約110メートル)及び市道4-244号(延長約60メートル)は、府中本町駅から国史跡武蔵国府跡(国司館地区)や大國魂神社につながる回遊性を創出する道路であり、市道4-50号や市道4-55号と連続する自然石の色彩を基調とした風格のある舗装、バリアフリー化など、誰もが歩きやすい道路整備を行っています。



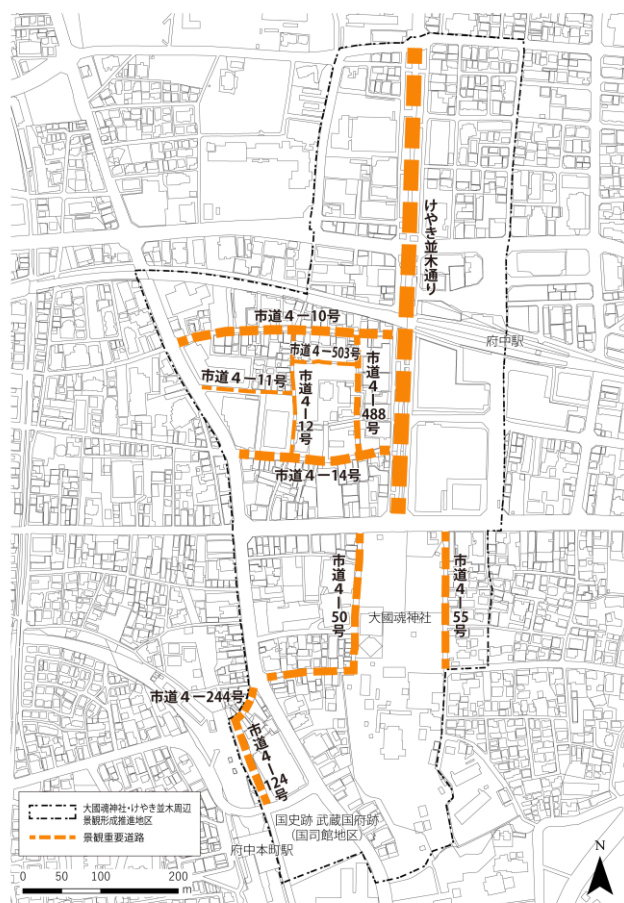
■市道4-124号

このため、歩きやすい道路空間を維持し、沿道の商業施設等と一体となって、楽しく歩きたくなる景観形成を進めます。

エ 市道4-10号、市道4-11号、市道4-12号、市道4-14号、市道4-488号、市道4-503号

けやき並木周辺の交通環境への対応として、宮西町地区において市道の新設及び拡幅整備を進めています。これらの道路は、けやき並木通りと府中街道等をつなぐ、中心市街地の魅力的で安全かつ快適な空間として整備を進めるとともに、にぎわいのある沿道景観の形成を進めます。

■景観重要道路の分布



(2) 景観重要公園・緑道

ア 郷土の森公園

郷土の森公園は多摩川に隣接し、豊かな緑地、緑道や水路が存在することから「水と緑のネットワーク」の拠点として位置付け、「府中市水と緑のネットワーク拠点整備実施計画」に基づき整備を進めました。

今後、新しい観光の視点も含めて当該実施計画を見直した上で、全庁的な調整を行いながら各施設の関連性を検討し、一体的な整備を更に推進します。



■郷土の森公園（修景地）



■郷土の森公園（芝生広場）

イ 緑道・遊歩道

（下河原緑道、二ヶ村緑道、新田川緑道、第三都市遊歩道、府中多摩川かぜのみち）

水と緑が持つ様々な機能を相乗的に高めていくため、個々の水と緑を結ぶ「水と緑のネットワーク」を緑の基本計画に示し、ネットワーク形成の取組を行ってきました。

対象となる緑道・遊歩道については、景観重要公共施設とし、水と緑の回廊（※1）としての連続性を確保した上で、生き物の生息空間、散歩やウォーキングなどのレクリエーション、拠点区域への徒歩やサイクリングでのアクセスルート（※2）などの機能を、より一層充実させます。



■下河原緑道



■府中多摩川かぜのみち

※1）水と緑の回廊：自然景観、生物生息環境の広がりを支える、樹林地や水辺などの連続した空間のことをいいます。

※2）アクセスルート：施設に至るまでの道筋・経路をいいます。

(3) 景観重要河川

多摩川

多摩川は、水と緑のオアシスとして市民に親しまれている河川であり、「多摩川河川環境管理計画」及び「多摩川水系河川整備計画」等に基づき、「多摩川流域リバーミュージアム」の実現に向けて、沿川自治体、市民組織等と連携しながら、河川や周辺環境が織りなす個性的な魅力づくりに配慮した整備や、生態系に配慮した自然環境の保全・創出などを進め、多摩川らしい河川景観を形成します。